

平成30年 8月10日

＜同時資料提供先＞合同庁舎記者クラブ・広島県政記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

## 平成30年7月豪雨災害に伴う自治体支援 ～自治体からの要請に応じた災害土砂の海上輸送による搬出支援～ 船舶を活用した災害土砂の効率的な海上輸送が本格的に開始します。

坂町、呉市から発生する災害土砂の撤去を支援するため、中国地方整備局ではTEC-FORCE（災害土砂等撤去支援チーム）を設置しています。

今般、坂町から発生する災害土砂の最終処分場（広島港出島地区）への輸送について、海上輸送の方法や搬出時期、国・県等の行政機関及び施工関係者等との調整が整ったことから、船舶を活用した災害土砂の効率的な海上輸送が8月11日（土）より本格的に開始されることになりましたので、お知らせします。

### 【取材できる内容】

#### ① 分別された土砂の船舶への積込み・運搬

場所：海上積出し拠点：鯛尾＜第六管区海上保安本部広島浮標基地＞

日時：8月11日（土）10時～11時

※土砂を運ぶ船の諸元（600m<sup>3</sup>積：10トガソフトラック 約120台分）

#### ② 災害土砂に混ざっているガレキ類等を除去する機械の始動

場所：仮置き場 北新地運動公園

日時：8月11日（土）9時～9時40分

※機械の能力（1日当たり約1,000m<sup>3</sup>の災害土砂を分別することが可能）

平成30年7月豪雨災害に係る対応状況については、中国地方整備局ホームページにて随時更新します。

[中国地方整備局防災情報ホームページ]

<http://www.cgr.mlit.go.jp/emergency/index9.htm>

■体制 災害対策本部 非常体制発令中（7月6日20:45～）

注）マスコミ関係の方で当日取材される場合は、別紙取材申込書により、FAXにて8月10日（金）18時までにご連絡をお願いします。

### ○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

TEL：082-221-9231（代表）

（担当）港湾空港部 事業計画官 はま だ やす ひろ  
濱 田 泰 広

（直通：082-511-3900）

（広報担当窓口）広報広聴対策官 いわした やすひさ  
岩下 恭久

企画部環境調整官 いのうえ かずひさ  
井上 和久

■ 集合場所（坂町北新地運動公園 駐車場）



国土交通省 中国地方整備局  
港湾空港部 港政課 徳田 行き

別紙

FAX 082-511-3910

※8月10日（金）18時迄にご連絡をお願いします。  
なお当日ご連絡の場合は、徳田（090-5265-0024）までお願いいたします。

## 取材申込書

御社名

---

取材者氏名

---

ご連絡先

---

# 大量の災害土砂の処理〈TEC-FORCE:災害土砂等撤去支援チーム〉

- 大量の災害土砂の撤去を支援するため、中国地方整備局内に「TEC-FORCE 災害土砂等撤去支援チーム」を7月25日に設置。
- 現在、坂町と呉市を対象として、各被災地から発生する土砂の撤去、搬出、仮置き、分別、海上輸送等の体制づくりを支援。



【被災地からの土砂等搬出状況】



【仮置き場への搬入】



【ガレキを除去する機械】



【土運船による海上輸送】



【広島港出島地区処分場】

## ◎支援チームの設置について

坂町および呉市では、大規模な土砂が発生しており、1日も早い復旧が望まれています。被災地から最終処分場に災害土砂をいち早く搬出するためには、海上輸送による効率的な輸送が不可欠です。また最終処分場に土砂を搬出するためには、災害土砂からガレキを除去する必要があります。

このため大量の災害土砂の撤去・搬出から最終処分場までの海上輸送を効率よく行う体制づくりを支援するチームを設置しました。

＜チーム構成＞  
企画部・河川部・道路部・港湾空港部が参画



# 災害土砂の海上搬出(坂町)

○坂町で発生した災害土砂については、仮置き場へ搬入し、ガレキ類を除去した後に、最終処分場(広島港出島地区等)へ処分することとしている。

○このため、水尻と海田に仮置き場を設置し、海上輸送を行っているが、今般、仮置き場(北新地運動公園)において、災害土砂からガレキと土砂を効率的に分別できる機械を新たに設置し、整備が整った海上積出し拠点(鯛尾)に陸上輸送の後、広島港出島地区まで海上輸送することにより、一層の効率的な輸送が可能となった。

